

## 品川区いじめ根絶協議会（第2回）議事録

実施日時：平成31年1月29日午後1時30分から午後3時30分  
会 場：品川区立日野学園

- 1 品川区教育委員会 教育長挨拶
- 2 授業見学
- 3 品川区日野学園 校長 挨拶・報告

学校におけるいじめ防止に向けた取組について

### 4 意見交換

<意見交換内容発表>（要旨）

#### 【第1グループ・A委員】

いじめ対策には、学校としての組織的な対応、子どもたちの自発的な活動の2点が重要で地域においては、子どもたちが集まる場所でそれぞれの個性を認めながら関わっていく。大森少年センターではいじめの加害者・被害者へのカウンセリングを行っているが、親のカウンセリングによって親のいじめ防止に向けた意識付けなども効果的な場合がある。

今後、SNS等によるいじめも更に問題になってくるので、社会全体で対応してくべき課題である。

#### 【第2グループ・B委員】

授業のテーマや内容などがとても良く、スクリーンやパソコンを活用や、先生からの質問の投げかけなど、今の子どもたちにあっていて、やわらかい雰囲気、意見を引き出しやすい工夫がされていた。

授業内容への提案としては、「傍観」という言葉がでてきたときに、傍観という立場がいじめにもたらす影響などについて、もう少し詳しく説明してもよかった。いじめをする気持ちが出てきてしまった時の対応についても触れてもよかった。

学校全体の取組としては、しっかりと組織的に取り組んでおり、今後も継続してもらいたい。

#### 【第3グループ・C委員】

学校の取組は、学校内で絶対にいじめをなくしていくという信念のもと、隙のない施策を実施しており、今後も続けてほしい。

警察も含めた地域での子どもたちへの、効果的な指導という面では、いじめは犯罪につながるということも認識し、警察と連携をとることや、各家庭への働きかけによって、子どもの心のケアを行い、加害者・被害者を出さない取組も重要である。

授業は、テーマ・内容がとても良かったが、さらに、子どもたちのいじめへの各立場、加

害者・被害者・傍観者のときどんな気持ちなのか、そこらいじめをなくすにはどう行動したらよいかという具体的な内容について盛り込んでもよかった。

#### 【第4グループ・D委員】

いじめというテーマの中で「生と死」について扱うとき、特に「死」について扱うときは、実感的に学ばせる内容にすると、つらい思いを思い出してしまう生徒もおりどう進めていけばいいのか難しい。

そのような中、以下3点のことを教えていくことが重要。①人は1人で生きているのではない。②植物を土から育てるなどの、生命を育てるといった体験をとおして命というものを実感してもらうこと。③多様性の中で生きているという認識を持たせる。

また、いじめられた際のSOSについては、比較的秘密性も守られ、その場で相談しやすい1行日記の活用は効果的である。

#### 【委員長】

授業については、教材やワークショップのような進め方など非常に良かった。生徒について、気になったことは、日本全体にも言えることかもしれないが、発表の声が小さいなど発表力がないと感じる。お腹から声を出す、自分の意見を言える子どもたちを育成し、外の集団でも通用するような、子どもを育ててほしい。

学校での取組は各班でも意見があったが、素晴らしかった。ぜひ、品川区全体で共有して欲しい。同時に、働き方改革のこともあるので、先生方の負担や健康にも留意して欲しい。クラスや校訓などの目標については、せつかく良い目標を立てているので、具体的な数字が取れるものは数値目標を立て、達成度を確認することや、日々の授業の学びに目標などを関連させていくことで、より効果的な授業が展開できるのではないかな。

## 5 終わりに

## 6 事務連絡

＜事務局より来年度のスケジュールについて＞

## 7 閉会